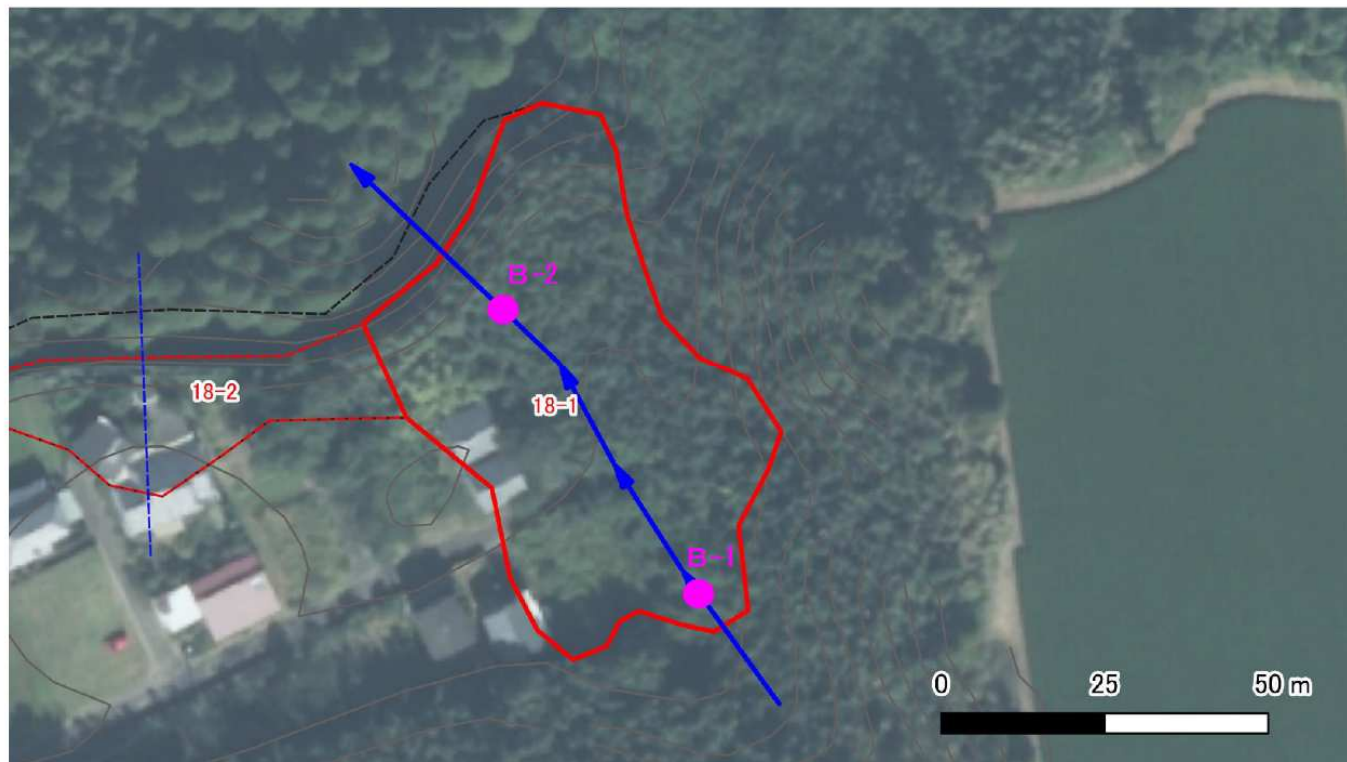
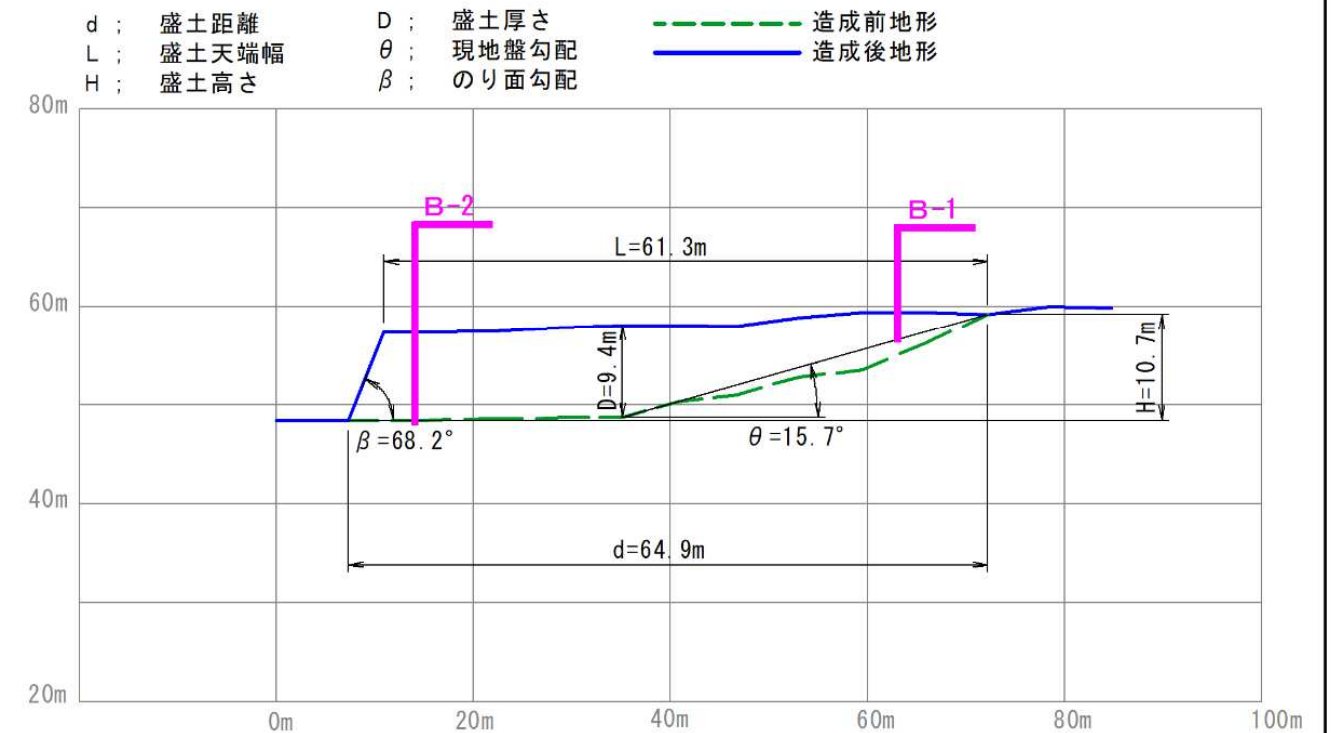


【位置図】



【位置図】



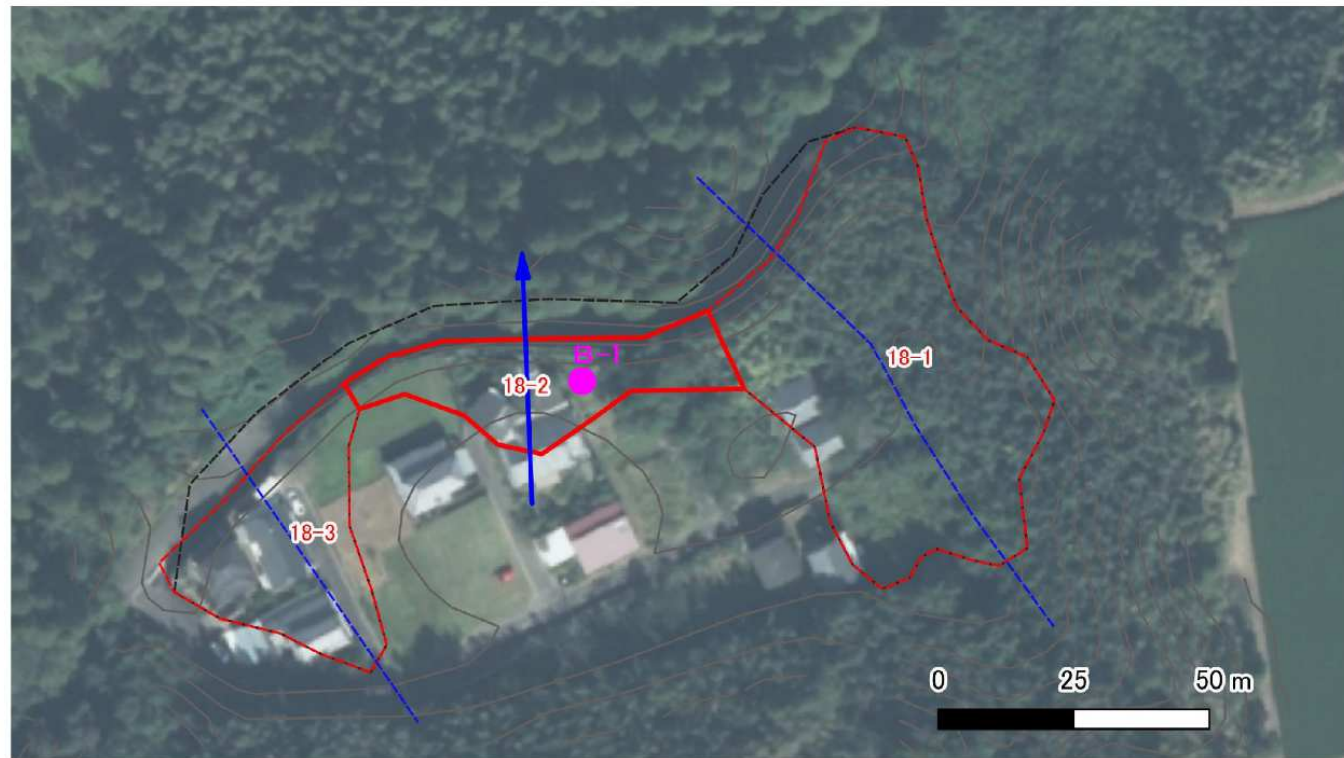
ボーリングNo.		B-1	B-2	合計	
機械ボーリング(m)	φ66mmコア	礫混じり土砂(盛土)	3	11	14
		軟岩(地盤)	2	2	4
		合計	5	13	18
標準貫入試験(回)	φ116mmノンコア	礫混じり土砂	0	5	5
		軟岩	2	10	12
		合計	3	3	6
トリプルサンプリング(本)		0	1	1	
地下水観測孔設置(m)		0	10	10	
室内土質試験(試料)	土粒子の密度	0	1	1	
	含水比	0	1	1	
	粒度	0	1	1	
	湿潤密度	0	1	1	
	三軸圧縮	0	1	1	

【調査計画】

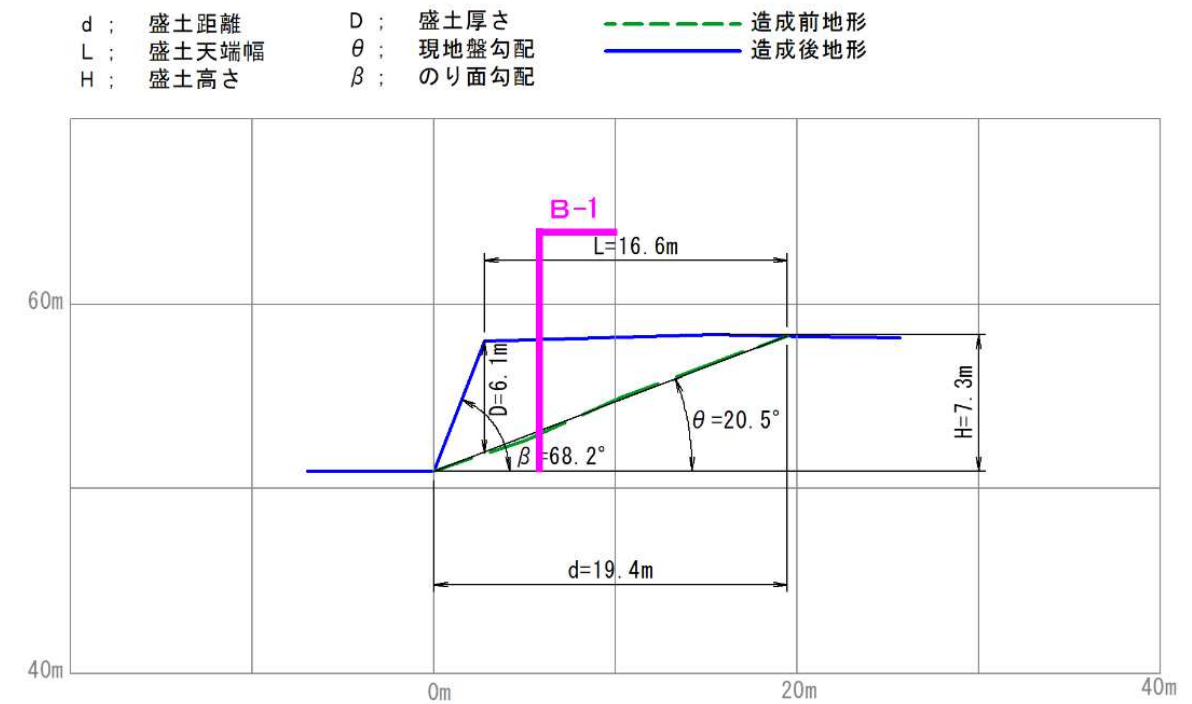
- ・ボーリング  
ボーリングは、盛土縦断方向に2箇所(上端、下端)計画する。  
掘進は、標準貫入試験を併用したコアボーリングで計画する。  
掘進長は、盛土の厚さを確認後、基礎地盤を2m程度確認した長さで計画する。
- ・標準貫入試験  
標準貫入試験は1mごとに実施する計画とする。
- ・サンプリング  
盛土を対象として、サンプリングを計画する。  
採取方法は、盛土材として礫混じり土砂が想定されるため、トリプルサンプリングで計画する。
- ・地下水観測  
盛土内の地下水位を把握するため、地下水観測孔の設置を計画する。
- ・土質試験  
盛土材の物性値を把握するため、土質試験(物理試験および力学試験)を計画する。

図 7.1.1 18-1 第2次スクリーニング計画(案)

【位置図】



【位置図】



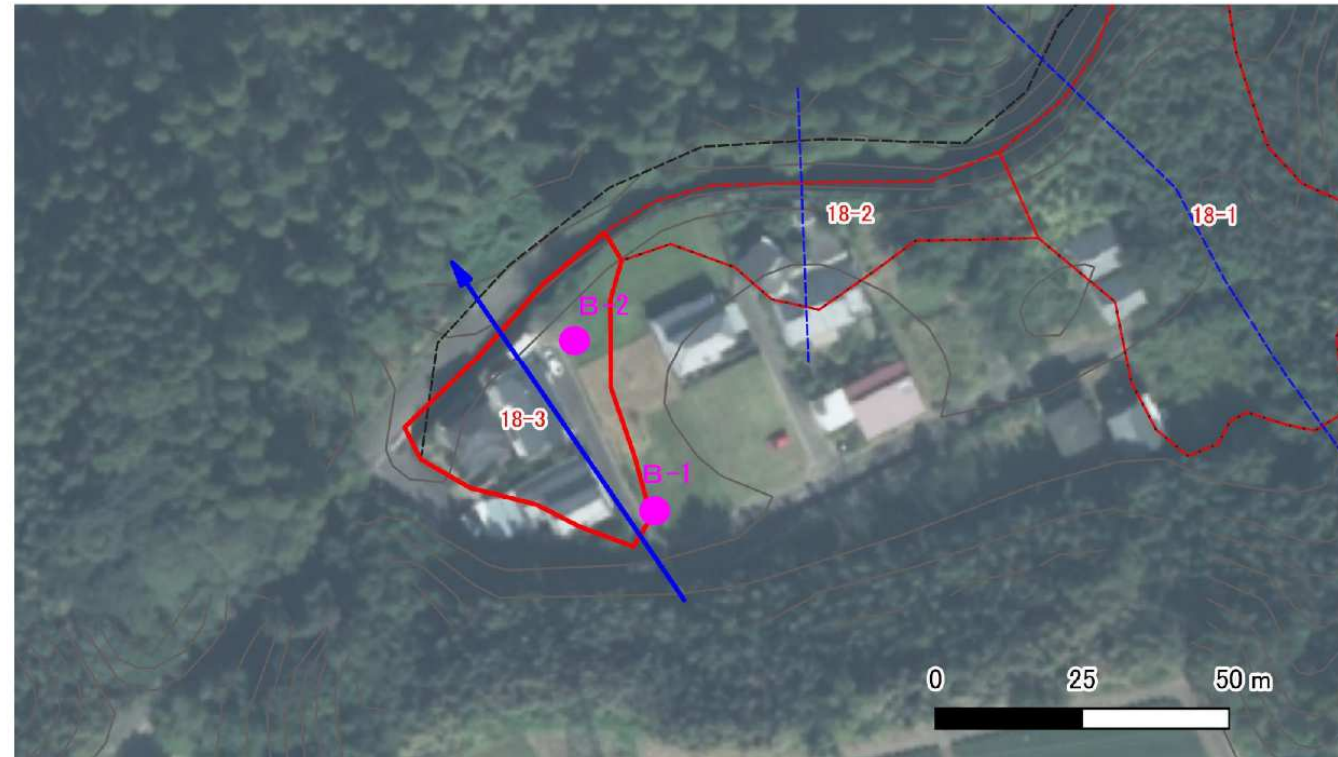
ボーリングNo.		B-1	合計
機械ボーリング (m)	φ 66mmコア	礫混じり土砂 (盛土)	5
		軟岩 (地盤)	2
		合計	7
	φ 116mmノンコア	礫混じり土砂 (盛土)	2
標準貫入試験 (回)	礫混じり土砂		4
		軟岩	3
		合計	7
トリプルサンプリング (本)		1	1
地下水位観測孔設置 (m)		5	5
室内土質試験 (試料)	土粒子の密度	1	1
	含水比	1	1
	粒度	1	1
	湿潤密度	1	1
	三軸圧縮	1	1

【調査計画】

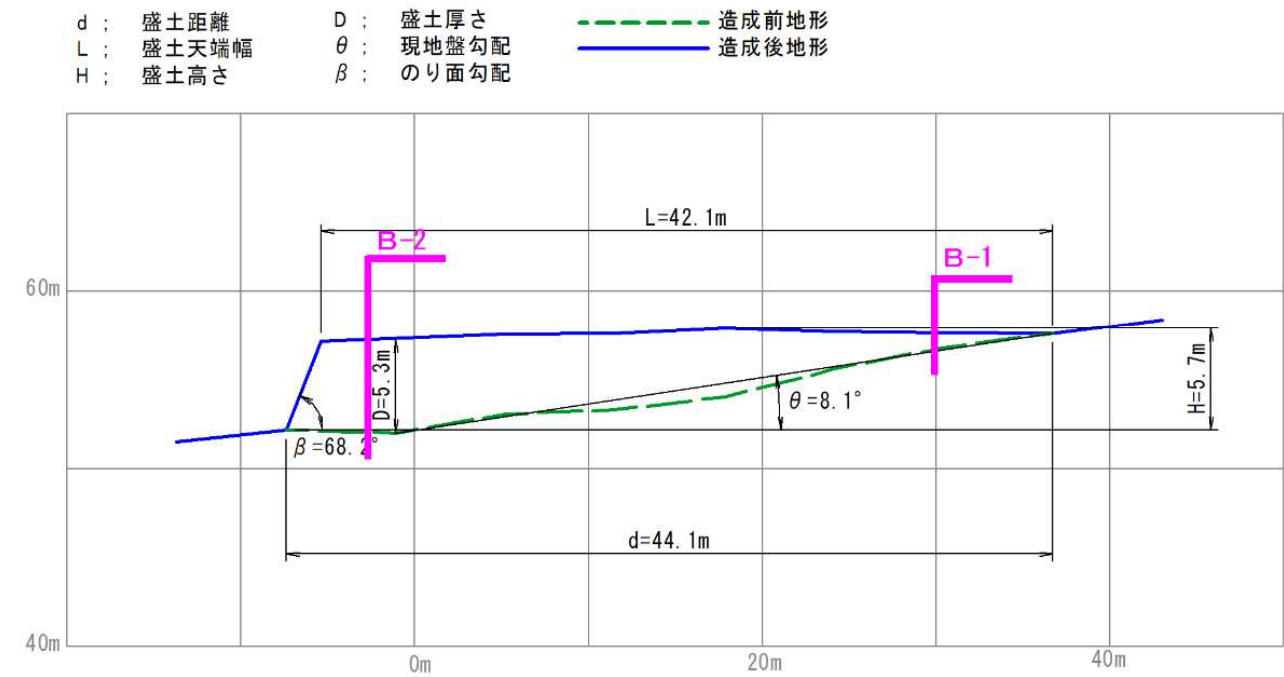
- ・ボーリング  
ボーリングは、盛土縦断方向に1箇所(下端)計画する。  
掘進は、標準貫入試験を併用したコアボーリングで計画する。  
掘進長は、盛土の厚さを確認後、基礎地盤を2m程度確認した長さで計画する。
- ・標準貫入試験  
標準貫入試験は1mごとに実施する計画とする。
- ・サンプリング  
盛土を対象として、サンプリングを計画する。  
採取方法は、盛土材として礫混じり土砂が想定されるため、トリプルサンプリングで計画する。
- ・地下水位観測  
盛土内の地下水位を把握するため、地下水位観測孔の設置を計画する。
- ・土質試験  
盛土材の物性値を把握するため、土質試験(物理試験および力学試験)を計画する。

図 7.1.2 18-2 第2次スクリーニング計画 (案)

【位置図】



【位置図】



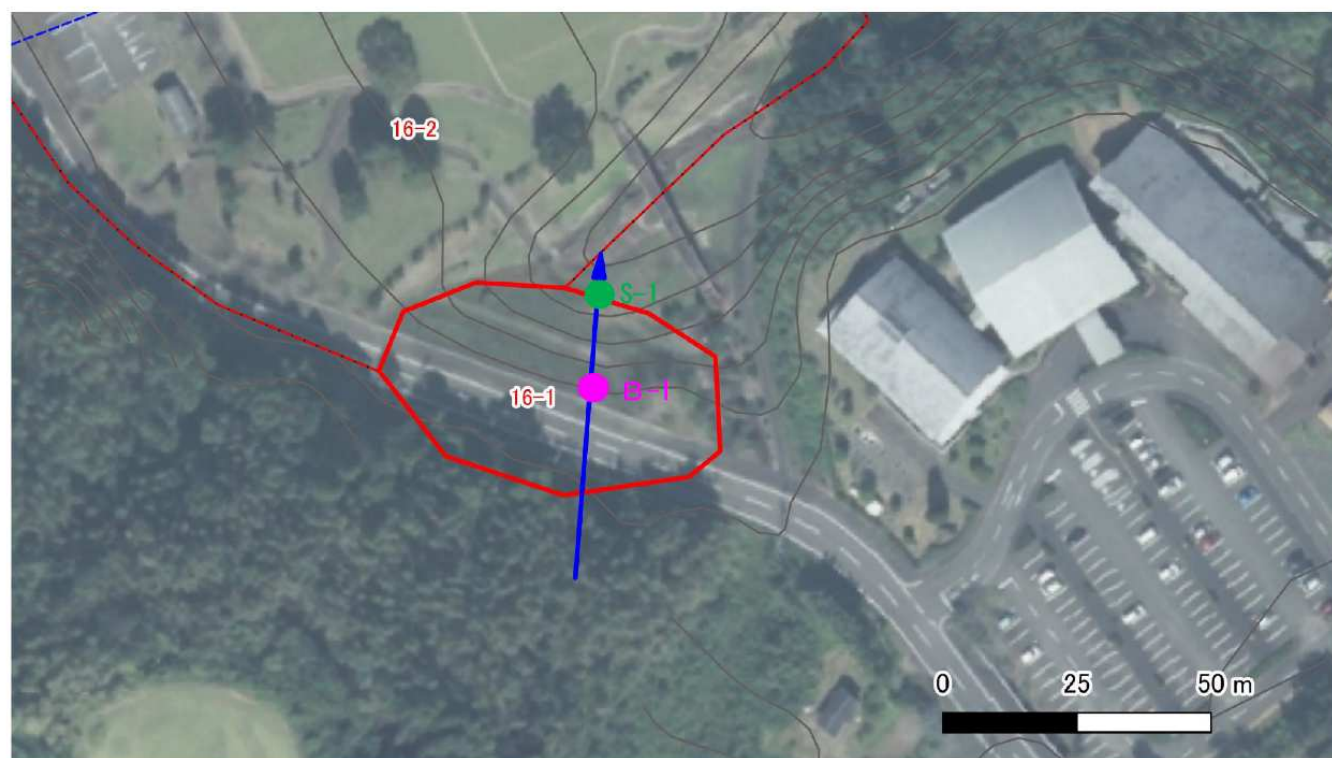
ボーリングNo.		B-1	B-2	合計	
機械ボーリング(m)	φ66mmコア	礫混じり土砂(盛土)	1	6	7
		軟岩(地盤)	2	2	4
		合計	3	8	11
	φ116mmノンコア	礫混じり土砂(盛土)	0	3	3
標準貫入試験(回)	礫混じり土砂		0	5	5
		軟岩	3	3	6
		合計	3	8	11
トリプルサンプリング(本)		0	1	1	
地下水位観測孔設置(m)		0	5	5	
室内土質試験(試料)	土粒子の密度	0	1	1	
	含水比	0	1	1	
	粒度	0	1	1	
	湿潤密度	0	1	1	
	三軸圧縮	0	1	1	

【調査計画】

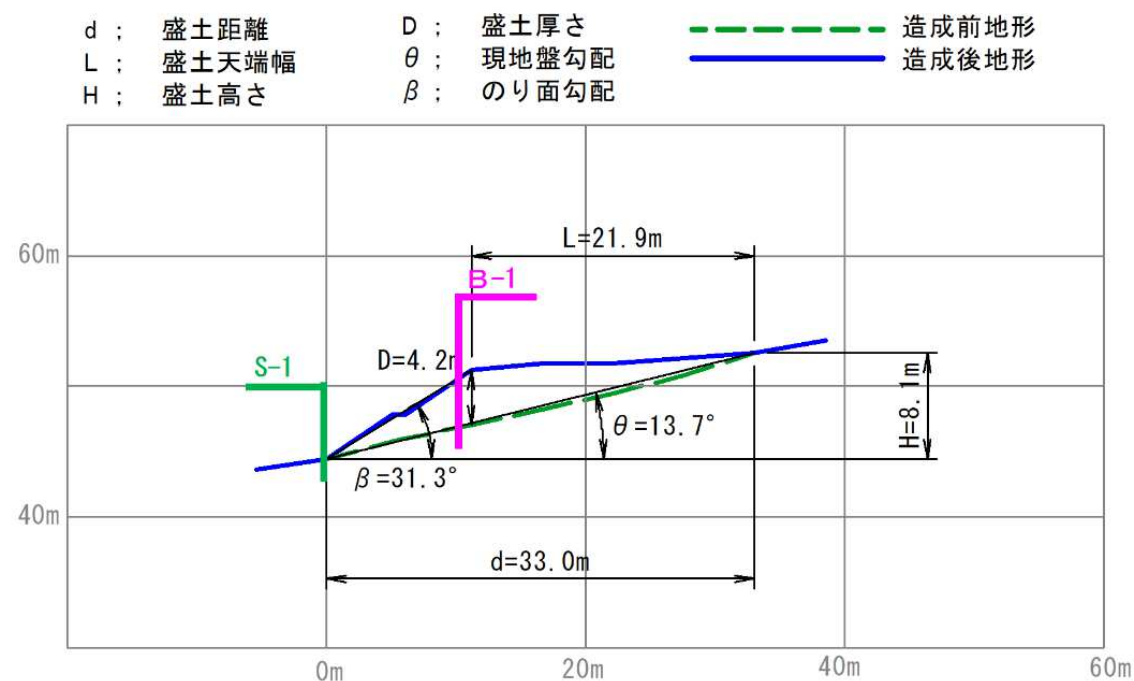
- ・ボーリング  
ボーリングは、盛土縦断方向に2箇所(上端、下端)計画する。  
掘進は、標準貫入試験を併用したコアボーリングで計画する。  
掘進長は、盛土の厚さを確認後、基礎地盤を2m程度確認した長さで計画する。
- ・標準貫入試験  
標準貫入試験は1mごとに実施する計画とする。
- ・サンプリング  
盛土を対象として、サンプリングを計画する。  
採取方法は、盛土材として礫混じり土砂が想定されるため、トリプルサンプリングで計画する。
- ・地下水位観測  
盛土内の地下水位を把握するため、地下水位観測孔の設置を計画する。
- ・土質試験  
盛土材の物性値を把握するため、土質試験(物理試験および力学試験)を計画する。

図 7.1.3 18-3 第2次スクリーニング計画(案)

【位置図】



【位置図】



ボーリングNo.		B-1	S-1	合計
機械ボーリング (m)	φ66mmコア	礫混じり土砂(盛土)	4	4
		軟岩(地盤)	2	2
		合計	6	6
	φ116mmノンコア	礫混じり土砂(盛土)	2	2
標準貫入試験(回)		礫混じり土砂	3	3
		軟岩	3	3
		合計	6	6
トリプルサンプリング(本)		1	1	
スウェーデン式サウンディング(m)			3	3
地下水観測孔設置(m)		4		4
室内土質試験(試料)		土粒子の密度	1	1
		含水比	1	1
		粒度	1	1
		湿潤密度	1	1
		三軸圧縮	1	1

【調査計画】

- ・ボーリング  
ボーリングは、盛土縦断方向に1箇所(のり肩付近)計画する。  
掘進は、標準貫入試験を併用したコアボーリングで計画する。  
掘進長は、盛土の厚さを確認後、基礎地盤を2m程度確認した長さで計画する。
- ・標準貫入試験  
標準貫入試験は1mごとに実施する計画とする。
- ・サンプリング  
盛土を対象として、サンプリングを計画する。  
採取方法は、盛土材として礫混じり土砂が想定されるため、トリプルサンプリングで計画する。
- ・サウンディング  
盛土のり尻部にサウンディングを計画する。
- ・地下水観測  
盛土内の地下水位を把握するため、地下水観測孔の設置を計画する。
- ・土質試験  
盛土材の物性値を把握するため、土質試験(物理試験および力学試験)を計画する。

図 7.1.4 16-1 第2次スクリーニング計画 (案)